

## 平成 30 年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	自立・共生・創造「家庭基礎」 (東京書籍)						
副教材等	生活ハンドブック (第一学習社)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○自立した生活者になることを目指します。

- ・社会で起こる様々な現象は、なぜ起こるのか、理解を深め、知識や教養を身につけます。常に自分ならどう行動するかを考え、人とのつながりを大切にする生活者になることを目指し実行するための手段について検討していきましょう。
- ・学習した知識や技術を自分の生活に活かせるようにし、自ら問題解決ができるような態度を身に付けていきましょう。

## 2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	自分らしい人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭科の学び方               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</li> <li>*エンカウンターグループワーク</li> </ul> </li> <li>○自分を見つめる               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯発達の視点</li> <li>・青年期をどう生きるか</li> <li>*自己を知る</li> </ul> </li> <li>○目標をもって生きる               <ul style="list-style-type: none"> <li>*将来の生活を展望する</li> <li>*人生の主人公として生きる</li> </ul> </li> </ul>				○	a: 青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 青年期にある自分を見つめ、課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d: 青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
5月	ささげあつて生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族・家庭を見つめる               <ul style="list-style-type: none"> <li>*家族法クイズ</li> <li>*サイレントオークション</li> <li>*ワークショップ</li> </ul> </li> <li>○これからの家庭生活と社会               <ul style="list-style-type: none"> <li>*家事労働と職業労働について知りワークライフバランスについて考える。</li> </ul> </li> </ul>	○	○		○	a: 家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d: 生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
6月	子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの育つ力を知る</li> <li>○親として共に育つ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達と保育</li> <li>・子どもの生活と保育</li> <li>「子どもの安全」                   <ul style="list-style-type: none"> <li>*潜在危険</li> <li>住まいの衛生・安全チェック</li> </ul> </li> <li>「子どもの食事」</li> </ul> </li> <li>○これからの保育環境               <ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもを取りまく社会変化の現状について理解し考える。</li> </ul> </li> </ul>	○	○		○	a: 子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 子どもの生活や遊びについての望ましい保育環境について調査・観察したことをまとめ、発表することができる。 d: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 観察記録表 定期考査

7月	高齢社会を生きる	<p>○高齢社会の現状と課題</p> <p>○高齢者の心身の特徴</p> <p>* 高齢期の心身の変化や特徴個人差が大きいことを理解する。</p> <p>○高齢者の暮らし</p> <p>○高齢者を支える社会のしくみ</p> <p>* 高齢者を支える制度と課題を考える。</p>	○	○	○	○	<p>a: 高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。</p> <p>c: 高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。</p> <p>d: 高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。</p>	<p>授業観察</p> <p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>発表</p> <p>定期考査</p>
		1学期期末考査		○		○		定期考査
8月・9月	衣生活を生きる	<p>○衣生活の役割</p> <p>* なぜ服を着るのか</p> <p>○被服の入手</p> <p>○被服の管理</p> <p>* 界面活性剤の働き実験</p> <p>○これからの衣生活</p> <p>○実習</p> <p>* ティッシュケース</p>	○	○	○	○	<p>a: 被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。</p> <p>c: 生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。</p> <p>d: 被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。</p>	<p>授業観察</p> <p>ワークシート</p> <p>製作計画</p> <p>実習レポート</p> <p>製作物</p> <p>定期考査</p>
10月	食生活をつくる	<p>○食生活の管理と健康</p> <p>○食事と栄養・食品</p> <p>・何をどれだけ食べたらいいのか？</p> <p>○食生活の安全と衛生</p> <p>○日本人は何を食べてきたか？</p> <p>○日本の食問題</p> <p>* 食生活の変化や問題点を知り、環境や食料自給率の問題点を考える。</p>	○	○	○	○	<p>a. 食事と食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b. 食生活における課題を見だし、その解決をめざして考え適切に判断し表現している。</p> <p>c. 生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。</p>	<p>授業観察</p> <p>ワークシート</p> <p>実習レポート</p> <p>定期考査</p>

11月	食生活をつくる	○調理の基礎 *調理実習3回	○	○	○	○	d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 写真 実習計画 実習レポート 実技テスト 定期考査
		2学期期末考査		○		○		定期考査
1月	住生活をつくる	○住生活について考える *住居の機能 *平面図の読み方 ○住生活の計画 *平面図の企画 *健康で安全な住居計画 ○これからの住生活 *環境に配慮した住居とは	○	○	○	○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 製作物 定期考査
2月・3月	経済生活を営む	○賢い消費者になる ・消費行動と意思決定 ・キャッシュレス社会のメリット・デメリット ・消費者の権利と責任 ・ライフスタイルと家計管理や経済計画の重要性 *マネープランのシミュレーションゲーム *大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの変換を考え持続可能な生活ができるようにする。	○	○	○	○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価
		3学期期末考査		○		○		定期考査

